

もくじ

- ◆各部の近況
 - 季節行事～節分の豆まき～ 1
 - センター利用者満足度調査結果..... 1～2
- ◆連載..... 2～4
 - 相談支援部より（第3回）
 - ①第1回障害者支援施設職員・福祉関係職員研修会を実施しました
 - ②高次脳機能障害セミナーを開催しました
 - 薬剤科より（第3回）
 - 錠剤の剤形について
- ◆インフォメーション..... 4

とちりハ通信

とちぎリハビリテーションセンター

◆各部の近況 —今回は各部の実施した行事、イベントなどをお伝えします—

入所療育課

季節行事～ドキドキ!わくわく!節分の豆まき～

こども療育センターでは、午後の余暇時間を利用して幼児から学童まで全員参加のグループワークを行っています。誕生会や季節にまつわる行事、ゲームなど、子どもたちと職員が一緒になって大盛り上がりです。年齢を問わず一緒に楽しい時間を過ごす中で、相手を思いやる気持ちや成長への期待、自己肯定感を育てています。



鬼は～そと～! 福は～うち～!

2月2日(火)は、節分の豆まきをしました。まずは、みんなにおなじみの「豆まき」のうたを歌い、節分とはどのような行事なのか話を聞きました。豆まきで使う豆が、みんなの大好きなネバネバ納豆の豆と同じということに子どもたちはびっくり! 升に入った豆に興味津々!

次に、鬼の的に向かって豆を投げ、鬼退治です。廃材や新聞紙で作った袴を着てみんなやる気満々。でも小さな幼児は、鬼の登場にドキドキ! 子どもの鬼はすぐに倒せましたが、大きなお母さん鬼はなかなか倒せず…。みんなで「せーの!」の声で力を合わせてやっつけました。大きな鬼が倒れると「やったー!」と大喜び。

最後は楽しい楽しい「鬼のパンツ」のダンスをしました。センターにはダンスの得意なダンサーがいるので、みんなを盛り上げながらお手本になってくれました。今年も1年みんなが元気に楽しく過ごせますように! ♪鬼は～そと～ ♪福は～うち～

今後も子どもたちの情操教育の一環として年中行事を大切にしながら、友達と一緒に楽しいセンター生活を送れるように様々な活動を企画していきたいと思えます。次回は、みんなで何をしようかな?



力を合わせてやっつけよう!

平成27年度とちぎリハビリテーションセンター利用者満足度調査結果

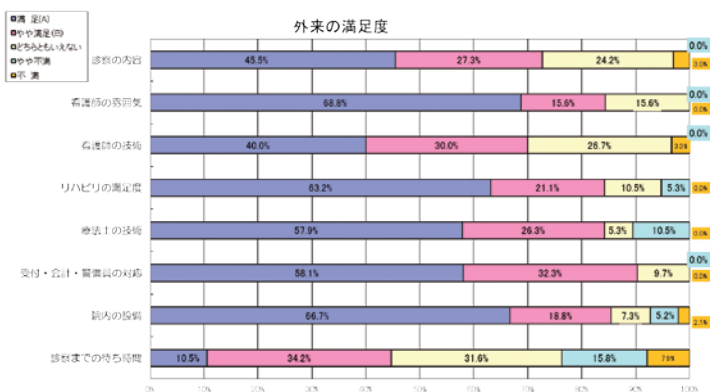
とちぎリハビリテーションセンターでは、よりよいサービスの提供を目指して、御意見箱の設置等により、日頃から皆様の御意見・御感想をいただき、センター運営の参考とさせていただいております。

本調査は、病院部門の運営改善や職員の意識改善の参考とするため、毎年度実施しており、今年度は28年1月に外来患者38名、入院患者36名の方に御協力をいただいて実施しました。今号では、アンケートの集計結果の概要(数値は5点満点の平均得点)を報告いたします。

①外来患者のサービス満足度

質問20項目のうち19項目が4.0以上でした。全体では4.2と、昨年度の4.4を0.2ポイント下回りました。評価が高かったのは【看護師の話しやすさ】【放射線技師の対応】【受付・会計・警備員の対応】【院内の清掃】が4.5でした。

一方、最も評価が低いのは【診察までの待ち時間】で、3.2と、昨年度の3.4を0.2ポイント下回る結果でした。【診察までの待ち時間】については、多くの方が受診されている中で、丁寧な診察を心がけており、待ち時間短縮との両立を図ることに難しさを感じているところですが、この結果を受け、患者・御家族の方に待ち時間をどのようにお過ごしいただくか考えて参ります。



②入院患者のサービス満足度

質問30項目のうち26項目が4.0以上でした。全体では4.2と、昨年度の4.3を0.1ポイント下回る結果でした。評価が高かった項目のうち【リハビリの満足度】【自身のリハビリ意欲】が4.6と最も高い評価で、続いて【看護師の言葉づかい】【療法士の言葉づかい】【院内の清掃】が4.5と続いています。

一方、最も評価が低い項目は、【食事のメニューについて】の3.8であり、食事全体でも3.9と昨年度と同じ結果でした。食事についてはカロリー計算や

塩分、糖分等の調整が必要となりますが、メニューや味に満足いただけることが重要と受け止め、引き続き改善を図って参ります。

アンケートに御協力いただきました皆様には、お忙しいところ誠にありがとうございました。御意見等は真摯に受け止め、十分検討し改善に努めるなど、今後とも皆様に満足いただけるよう、センター全体で取り組んで参ります。

◆連載

相談支援部より (第3回)

○第1回障害者支援施設職員・福祉関係職員研修会を実施しました

平成27年10月15日(木)、とちぎ健康の森とちぎ健康づくりセンター(宇都宮市駒生町)にて、本年度第1回の障害者支援施設職員・福祉関係職員研修会を実施しました。今回は首都大学東京の山田拓実教授(理学療法士)から、「施設で出来るリハビリテーション～障害者・要介護者向け健康作り体操～」をテーマとした講義と実技が行われました。

講義の中で「荒川ばん座位体操」が紹介され、ビデオを見ながら受講生同士でこの体操を体験しました。「荒川ばん座位体操」とは、山田先生が東京都荒川区と協力して開発された体操で、座位又は車椅子上で21種目の運動を約10分間行うものです。特長は、自発的に手足を動かさない方も介助者とともに出来る点です。ビデオには、一人で行う体操と介助者とともに行う体操が同じ画面に表示されます。また、動きとともに発声を促す種目があり、呼吸機能の維持・回復が意図されています。すでに介護予防を目的に実践されている地域では、その効果検証もなされています。



「荒川ばん座位(ざい)体操」の体験

シンプルなお内容でありながら、体験してみると障害の有無にかかわらず良い運動となることが感じられ、受講生からは「施設の日課にぜひ取り入れてみようと思います」との声も多く聞かれました。

シンプルなお内容でありながら、体験してみると障害の有無にかかわらず良い運動となることが感じられ、受講生からは「施設の日課にぜひ取り入れてみようと思います」との声も多く聞かれました。



講演する片桐先生

立場から、医療機関で高次脳機能障害をできるだけ見落とさないようにして地域支援につなげていく必要性についてお話してくださいました。

また、地域支援に求められる要素としては、3つの“S”、System（支援者同士の顔が見える地域連携システム）、Support・Supporters（システムを動かす人）、Synchronization（支援者同士が連携する際の支援情報の共有・共通言語の活用など）が重要であり、さらに、地域支援を維持するための要素としては、3つの“M”として、Man power（理解者・支援者）、Money（支援に対する経済的バックアップ）、Motivation（支援者の燃え尽き予防）が重要である、と説明してくださいました。

参加者は146名で、主に高次脳機能障害の方やその御家族、障害者支援機関や介護保険関係機関、就労関係機関の方々でした。参加者からは「参考になった」との評価が大部分を占め、「本人、家族、医療、支援と全てが連携する必要があることが理解できた」、「高次脳機能障害を、医療、家族、支援機関等といろいろな角度から考えることができ、とても勉強になりました」などの感想が寄せられました。

今後も、高次脳機能障害の方や御家族へのより良い支援の輪を広げていくために、同セミナーを毎年開催していく予定ですのでぜひ御参加ください。

○「高次脳機能障害セミナー」を開催しました

平成27年11月8日（日）、県民の皆様に「高次脳機能障害」を御理解いただき、よりよい支援を広げていくために、とちぎ健康の森（講堂）において高次脳機能障害セミナーを開催しました。今回は、^{せいれい みかたはら}聖隷三方原病院リハビリテーション科部長の^{かたぎりのりまさ}片桐伯真先生をお招きし、「高次脳機能障害の方を地域で支えるためには」をテーマに講演していただきました。

高次脳機能障害は、発症・受傷後の治療・支援が医療機関だけで完結するものではなく、日常生活や就労など各段階に応じた継続的な地域での支援が必要となる障害です。片桐先生は、医師の

薬剤科より（第3回）

○錠剤の剤形について

飲み薬には、錠剤、カプセル剤、液剤、散剤、顆粒剤、丸剤などがあります。日本においては、古くは奈良時代には麝香（じゃこう）、胡椒（こしょう）、はちみつなどを原料とした丸薬があったそうです。

飲み薬の中で当院で最も種類が多い剤形は「錠剤」です。錠剤とは、医薬品を一定の形状に圧縮して製造した薬剤で、圧縮成形した後表面に何の加工もしない裸錠の他、表面を糖でコーティングして飲みやすくした糖衣錠、腸で溶ける高分子物質で皮膜を作った腸溶剤、口に入れるとすぐに唾液で溶ける口腔内崩壊錠(Orally Disintegration tablet：OD錠)などがあります。今回は特徴のある錠剤の剤形についてお話します。



①舌下錠（例：ニトロペン舌下錠など）

舌の下に含んで、口の中の粘膜から速やかに薬物を吸収させ効果を出す錠剤で、粘膜から直接吸収されるので1～2分で効果が出てきます。この薬を飲み込んでしまいますと効果が弱まったり、効果が出るのが遅くなったりしますので注意が必要です。

②徐放錠（例：テオフィリン徐放錠、デパケンR錠など）

薬の成分が少しずつ溶け出し、長い時間効果を持続するように加工された錠剤です。1日の服用回数を減らすことができ、また副作用を減らす効果もあります。

徐放錠はかみ砕いて飲むと薬剤の血中濃度が急激に上昇し、重大な副作用が出る可能性があります。「徐放錠」と名称についている錠剤はかまずに飲んでください。また、徐放性の皮膜（カウ）が便と一緒に排出されることがあります。（例：デパケンR、コンサータ錠）

③腸溶錠（例：バイアスピリン錠）

有効成分が胃酸に弱い場合や胃に刺激を与える場合に用いるもので、酸性では溶けず中性で溶ける高分子物質で皮膜を作り、腸で有効成分が吸収されるように加工した錠剤です。この薬も、かんでしまうと効果が失われたり、副作用が出たりしますので、かまずにおのみください。

④口腔内崩壊錠：OD錠（例：アムロジピンOD錠）

口の中で唾液ですぐに溶けるように加工された錠剤で、錠剤を飲み込みにくくなった高齢者でも簡単に服用することができるため、様々な錠剤でOD錠が発売されています。

口の中でさっと溶けますが、口の粘膜で吸収されるわけではありませんので、唾液または少量の水で飲み込む必要があります。水分の摂取が制限されている患者さんの場合は、水無しで飲んで下さい。また、寝たままでの服用の場合には、水で服用することになっています。

⑤チュアブル錠（例：キプレスチュアブル錠）

主にお子様や高齢者向けに、かみ砕いて飲み込む錠剤です。

おまけのコーナー：いろいろな形の錠剤
錠剤は通常円形であることが多いですが、中には変わった形の錠剤があります。

▲ 三角形：アナフラニール錠10mg

■ 正方形：ラミクタール錠100mg

◆ 五角形：デカドロン錠

● 六角形：クリノリル錠



◆インフォメーション

○平成28年度身体障害者巡回相談のお知らせ

身体障害に関する相談会を開催します。医学的な相談、補装具、身体障害者手帳、リハビリ等に関する相談を整形外科医、リハビリ専門職、保健師等が対応いたします。（要予約、先着5名程度）参加御希望の方は、お住まいの市町の障害福祉担当課にお申し込みください。

月日	エリア	開催市	会場（施設名）	開催時間
6月8日（水）	県北	大田原市	トコトコ大田原	14：00～16：00
7月14日（木）	県南	小山市	小山市保健・福祉センター	14：00～16：00
8月25日（木）	安足	佐野市	佐野市田沼中央公民館	14：00～16：00

※今後の日程も、決定次第、栃木県ホームページ等に掲載していきます。

※お住まいの市町以外で開催される巡回相談にも参加可能です。

※都合により日時が変更となる場合もございます。必ずお住まいの市町の障害福祉担当課にお申し込みの上、御参加ください。

○身体障害者手帳に関するお知らせ

平成28年1月1日から、身体障害者手帳の交付や内容等の変更の申請書に個人番号を記載していただくことになりました。お住まいの市町福祉担当課の窓口申請の際には、個人番号カード又は個人番号通知カードにより個人番号及び本人の確認をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、平成28年4月1日から、呼吸器機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害の身体障害認定基準等が改正されます。（現在お持ちの手帳の変更は不要です。）

編集後記

3月に入り、暖かい日が多くなりました。今年は春分の日が振替で三連休ですので、行楽地などに出かける方も多いのではないのでしょうか。その春分の日ですが、法律では「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」として定められています。たまには自然豊かな場所で、朗らかな春の休日を過ごしてみるのもよいですね。

（発行）とちぎリハビリテーションセンター
管理部 総務企画課

〒320-8503 宇都宮市駒生町 3337 - 1

TEL.028-623-6101 FAX.028-623-6151

URL <http://www.rhc.pref.tochigi.lg.jp/index.html>